

【南風校区共創プラン】（平成 23 年 11 月策定 平成 30 年 12 月取り組み計画一部改訂）

1. プランの位置づけ

糸島市の事業「いとしま共創プラン」の取り組みとして、南風校区の住民自らが実施します。

- ・南風校区まちづくりの方向性を示します。 ・南風校区運営委員会の 10 年計画を示します。
- ・南風校区の自治活動の取り組みを示します。

2. プランの意義と目的

（プランの意義）

- ・共創プランは、南風校区の特性を生かした住民自治を実現するため、住民が自らの手で作り、実践するものです。

（プランの目的）

- ・10 年後も魅力ある南風校区を目指すために。
- ・住んでいる私たちがこれからも住んでよかったと思える街であり続けるために。
- ・住んでいる私たちが主役となるコミュニティ活動の基軸をもつために。
 - * 本プランはつくることがゴールでなく、スタートです。
 - * 年を重ねるごとに本プランは進化し続けます。

3. まちづくりの将来像・目標 ～10 年後のありたい姿～

『**住みたい・住み続けたい街**』・・・南風校区のひとりひとりが、隣同士や世代間の交流を通し、かつ南風校区の環境を愛して、南風らしいアイデンティティーを創りあげるよう努め続ける街です。

（まちづくりの目標）

- ・**笑顔あふれる街**・・・住民ひとりひとりが、笑顔であいさつを交わし合い、お互いを尊重し合いながら、活気としあわせを実感することにより、みんなの笑顔があふれる街を目指します。
- ・**ふれあいのある街**・・・住民の交流の場が、気軽に参加でき、コミュニケーションがとれ、お互いに誘い合えるようなものとなり、みんながふれあいを実感する街を目指します。
- ・**安全・安心できる街**・・・住民ひとりひとりが、常日頃よりお互いに顔を合わせ、声を掛け合いながら、いざという時に協力し合えるようになり、自らが安全、安心を守る街づくりを目指します。
- ・**自然環境にやさしい街**・・・住民ひとりひとりが、恵まれた自然環境を大切に思い、みんなで協力して自然環境を守り育てる街づくりを目指します。

4. まちづくりの取り組み計画

企画・広報	交流・連帯・地域力	安全・安心・生活環境
1. まちづくりに関する環境変化の調査・分析 2. 広報活動 3. まちづくりのための研修 4. 共創プランの認知をはかるとともに、原則として 1 年に 1 回見直し、改訂を行う	1. 各種委員会の再構築 2. 各種委員会委員の選出方法の見直し 3. 各種委員会の運営方法の改善 4. 近所間コミュニケーションの活性化 5. 世代間コミュニケーションの活性化	1. 挨拶を基点とした安全安心まちづくり 2. 防犯・交通危険マップの整備・活用・改善 3. 防災マップの整備・活用・改善 4. 安全安心パトロール活動の充実 5. 生活環境整備・美化・保全活動の充実等

5. まちづくりの三者連携体制

地域住民と学校、公民館の三者が連携して校区まちづくりをこれからも進めていきます。

みんなの みなかぜ ～住みたい、住み続けたい街～

第8号＜保存版＞
平成31年2月1日
南風校区運営委員会
共創プラン推進委員会



➤ アンケートの集計結果について

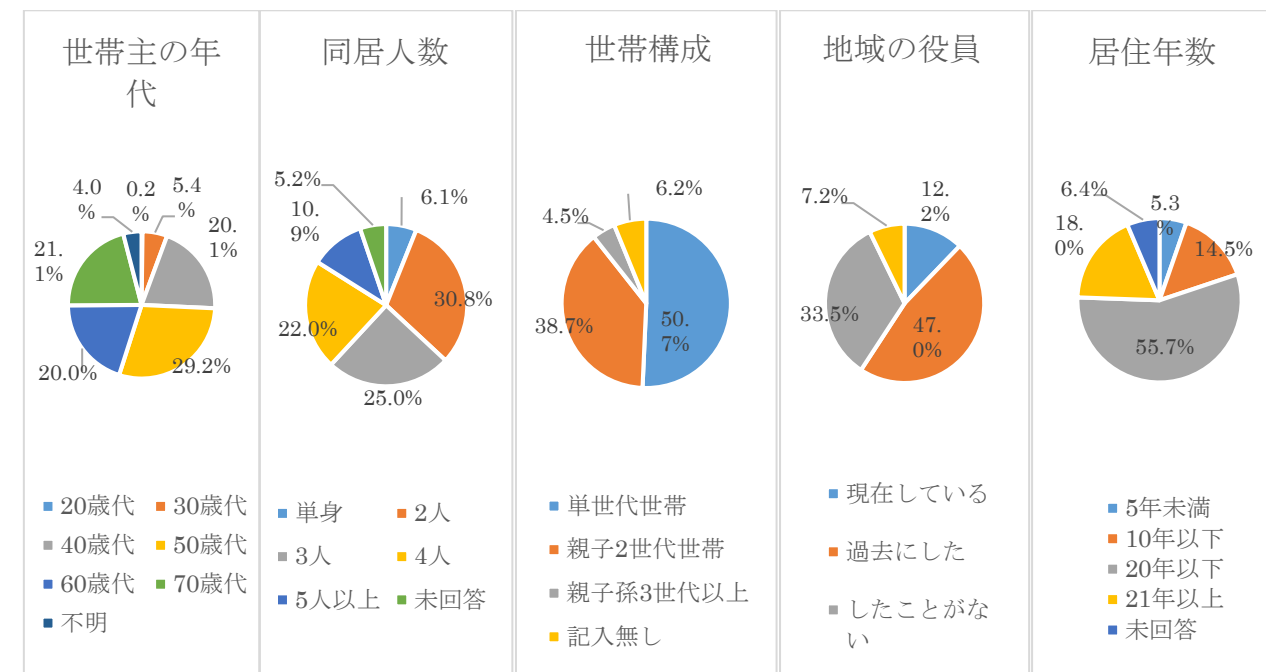
昨年 10 月に実施した校区アンケートにご協力いただきまして、まことにありがとうございます。結果について報告いたします。今回のアンケートは、住民の皆様が「住みたい・住み続けたい街」を実感できる街づくりのため、南風校区共創プランの内容の見直しを行うべく、校区の三大イベント（スポーツインみなかぜ、夏祭り、文化祭）を中心にご意見をうかがったものです。糸島市役所から校区まちづくり計画（共創プラン）の検証と改訂依頼があったため、この結果もふまえ、平成 23 年に策定した共創プランの見直し、変更を行い、校区運営委員会理事会の承認を経て昨年末に糸島市にプランの提出をしております（裏面記載）。

【アンケートの集計結果】

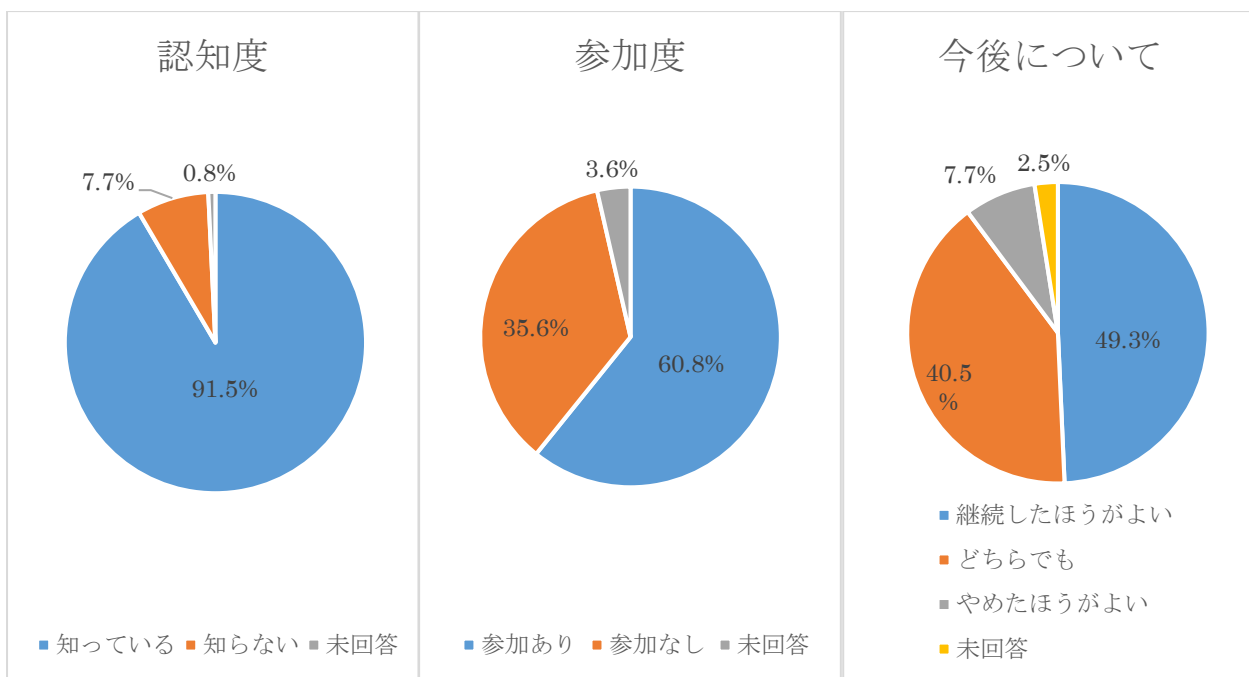
＜行政区別＞

行政区名	荻 浦	多 久	美咲東	美咲西	南風台 1・2	南風台 3	南風台 4	南風台 5	南風台 6・7	南風台 8	合 計
世帯数	670	200	402	425	302	198	112	125	407	96	2,937
回収数	103	27	133	163	235	15	63	74	57	51	921
回収率	15.4%	13.5%	33.1%	38.4%	77.8%	7.6%	56.3%	59.2%	14.0%	53.1%	31.4%

＜回答者の分布＞

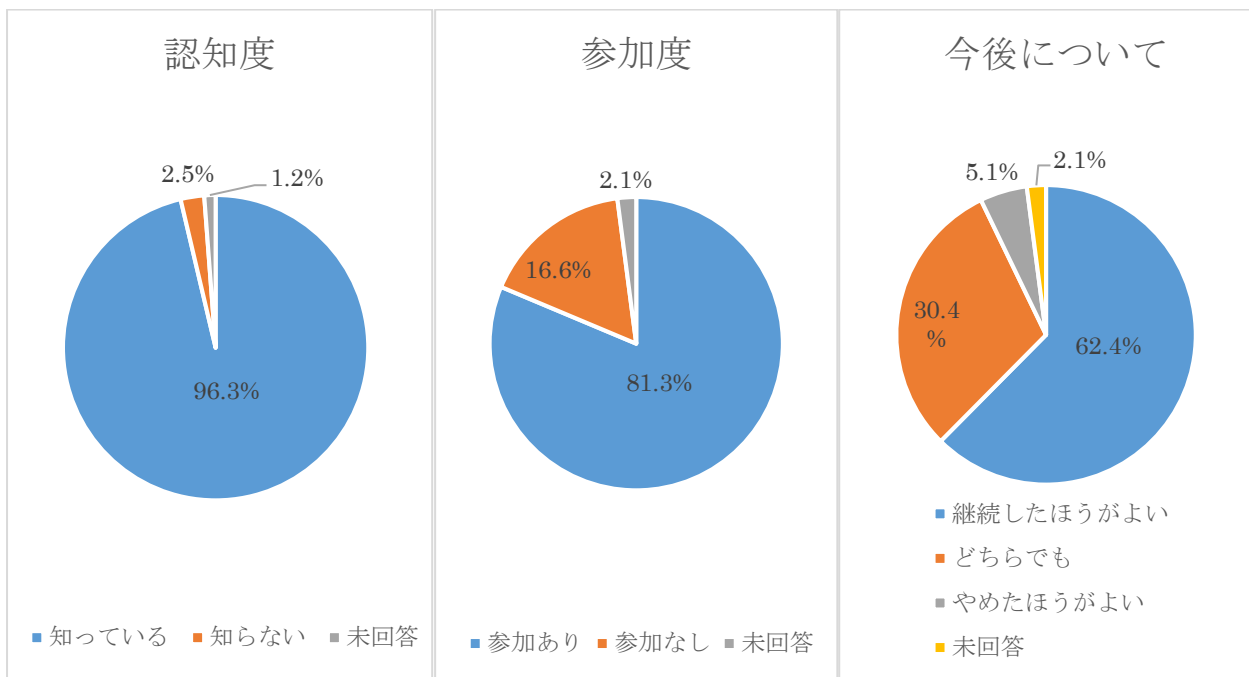


<質問1 スポーツイン南風について>



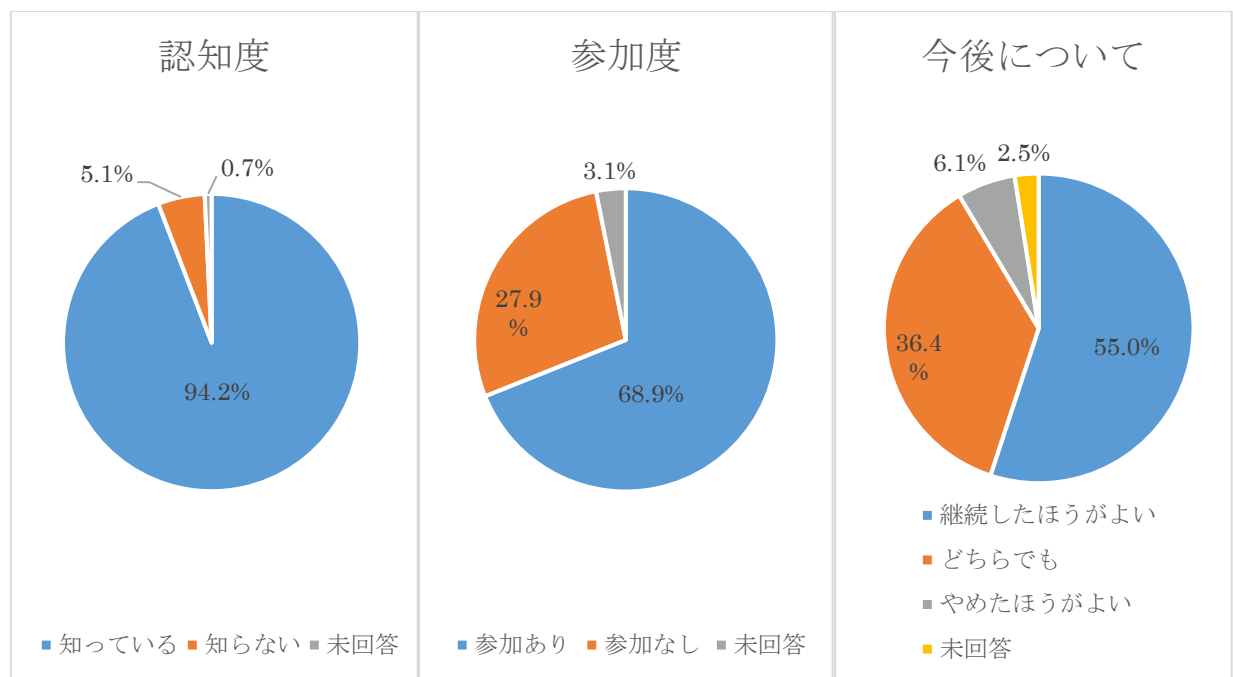
・世代間交流は大切、子どもと地域の方々が触れ合える、地域連携につながる、子どもが減少してきているので、合同開催のほうが良いという意見のほか、地域と小学校が別々に運動会をするなら一本化して1回開催のほうがよいという意見もありました。反面、子どもが小学生の時は参加していたが、今は全く参加していない、人数が多く運動会の時間が長い、役員負担の軽減や高齢化のため小学校独自で行ったほうが良いという意見もありました。

<質問2 南風ふれあい夏祭りについて>



・子どもたちが楽しみにしている、卒業生も当時の友達や先生に会えることを楽しみにしている、懐かしい人に出会えるといった継続してほしいという意見が多かった反面、猛暑の折(熱中症、食中毒等)開催時期を見直してはどうか、継続したほうが良いと思うが、役員の負担が多く準備が大変なので規模の縮小を検討といった意見もありました。

<質問3 南風校区文化祭について>



・地域の方々の作品に触れ合える、文化活動の発表の場としてまたその活動を見ることが出来る場として継続してほしい、小学校に行き子どもたちと触れ合える等の意見が多かった反面、小学生をもつ保護者以外の参加が少ない、出品希望者が減ってきている、地域と小学校は別々に開催したほうがよい、役員や教職員の負担が大変だといった意見もありました。

<質問4 その他の校区行事について>

詳細の掲載は割愛いたします。

<質問5 防犯・防災についての意見・アイデア>

・地域の方の顔を知るためにも日ごろからの声掛け、挨拶を行うという意見が最も多く見られました。
 ・設備面としては外灯を増やす、暗いのでLEDに変える、防犯カメラの設置という要望が多く見られました。また、防災無線が聞こえづらいという意見も多数ありました。
 ・防犯・防災ともその活動や訓練の周知と継続が大事。

<質問6 今後どのような活動なら参加できるか>

・防災訓練や子どもと一緒にできる活動という意見が最も多く、その他高齢者も参加しやすいスポーツや行事(グランドゴルフ・ウォーキング・軽運動・バス旅行・料理教室等)。
 ・仕事の経験を生かしたボランティア活動。
 ・反面、仕事が忙しく参加が出来ない、短時間や少人数でできるサークル活動、参加する人の負担の少ない活動なら参加したいといった意見もありました。

<質問7 南風校区が「住みたい・住み続けたい街」であるために、あなたが出来ること>

・環境美化活動、清掃活動が最も多く、その他地域行事への参加、笑顔であいさつ、声掛けなど近隣の方との交流を深める、子どもの見守り等の意見が多数を占めました。

＊アンケートの詳細については南風公民館 HP (<http://www.city.itoshima.lg.jp/c005/index.html>) の「校区の情報・活動」に掲載しています。ぜひご覧ください。